



## 23春闘討論集会 質疑・討論



座長 石塚副委員長



議案提案 遠藤書記長

**東京トラック部会**  
石塚 淳 部会長  
毎月1回幹事を開催。首都圏労使セミナー、首都圏トラックパレード、関東東運輸局交渉、首都圏トラックの日宣伝行動、全国トラック部会宣伝行動など開催。東京トラック最賃対策会議を9単産で共闘。京王新労組の闘いを引き続き支援。トラック政策を柱に全産業水準の賃金・労働条件の獲得、改善、要求アンケートの実施で組織化に取り組む。1月に第24回部会総会を開催予定です。

**三多摩トランスポート分会**  
斎藤 芳和 分会長  
職場はミキサー車の運転手をはじめ従業員45名、3労組が存在。自分達建交労は必ず労使で合意書を交わし経緯がわかる体制を継続。60歳定年後の労働条件維持など交渉中。一時金交渉妥結後、嘱託社員と正社員の均等に向けた事務折衝を会社が約束。ここ数年春闘アンケートは分会員だけでなく職場の2/3が回答。結果とお札を組合掲示板に掲載している。23春闘は少人数組合で困難ながらも粘り強く取り組む。

**バス関連支部 (京王新労組)**  
佐々木 仁 執行委員長  
日頃の支援に感謝します。連合労組は要求を提出せず、春闘を行わない。私達はストを構え要求を提出。バス運転手の不足もあって、子会社でのベア、家族手当、退職金改定、15日の休日、一時金の2割カット分の支払い等勝ち取った。争議の早期解決を目指し現在会社と和解協議中。会社も解決したい意向だが連合と同じような組合になるわけにはいかない。西東京バスの賃金差別についても支援をお願いします。

**神田支部**  
松崎 守男 常任執行委員  
グループ含め96職場に対し1月中旬〜2月にかけて全国オールド行行予定。建交労や業界の様子を発信し身近な問題としてアンケートに回答してもらうよう工夫。賃金制度を自ら作成・提案し能動的提案型要求へ。組織推進委員会では50名の拡大目標を設定。今年、常任執行委員を増員し人材を育成。職場単位の分会が最重要と位置付け、組合員が積極的に参加出来る分会を目指し分会運営マニュアルを引き続き運用する。

**事業団・高齢者部会**  
藤田 誠 副部会長  
高齢者事業団の賃金等の状況について。新宿区は公契約条例に基づく労務費の下限額が1150円から1202円に上がる。事業団として600万の黒字を見込んでいたが、1100万円の支出増となるだろう。少しでも入札における落札額を上げる事が必要だが、ここ数年競争が激しく、芝公園、日比谷公園で仕事を失っている。苦しい中ではあるが、引き続き仕事確保、賃金アップを目指していく決意です。

### 12月11日〜12日第28回全国建設研究・交流集会

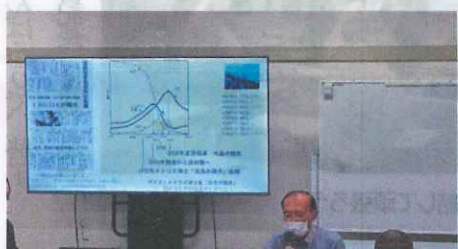
#### 福島県スパリゾートハワイアンズ

国土交通労組、建交労、全建設連加盟組合など建設の労働組合や研究者等で構成する建設政策研究所は、約3年ぶりに福島県いわき市のスパリゾートハワイアンズで第28回全国建設研究・交流集会を開催しました。「いのちと安全をまもる地域建設産業の発展に向けて」をテーマに、駒澤大学吉田敬一名誉教授による

都本部主催業種別学習交流会  
東京建設 関連部会 建築士の仕事  
東京都本部に結集する様々な業種の生業や労働実態を、組合員同士が互いに知り、団結を深める目的で提起された業種別学習交流会の第2回目が、11月12日(土)、東京労働会館地下会議室で開催されました。2021年12月に開催した上村事務局長による東京トラック部会の学習会以来となります。第2回は東京建設・関連部会に結集する建築士の中間の社会的役割や労働実態について、建築設計支部いしずえ分会の伏谷政幸建築士、



いしずえ分会 伏谷政幸一級建築士



いしずえ分会 金田正夫一級建築士



とも企画設計 高田桂子代表

とも企画設計の高田桂子代表、法政大工学博士金田正夫建築士が講師を務め行われました。伏谷氏は、設計・施工・メンテナンスに至るまで建設・関連部会の仲間の仕事の流れを紹介し、高田代表は、施工、主ひとりひとりが異なる要望を持つ中、対話を重ねながら設計する建築士の役割を強調されました。金田氏は、環境破壊を引き起こさない真の持続可能な建設業界の在り方について講演されました。質問時間では、参加者から率直な質問が出され、有意義な時間となりました。次回、第3回の業種別学習会交流会もお楽しみに！



建交労からは地元福島を含め8名が参加しました

### 組合掲示板

- 1月 6日(金) 8時〜23春闘新春宣伝行動/新宿駅東口
- 1月12日(木) 11時〜23春闘闘争宣言(丸の内仲通りデモ経団連前行動)
- 1月12日(木) 14時〜バス関連支部(京王新労組)都労委都庁第一庁舎38階
- 1月16日(月) 13時〜西東京バス証人尋問/東京地裁立川404
- 1月24日(火) 18時半〜23国民春闘総決起集会/なかのゼロホール

「中小企業とコロナ危機後の日本経済」と題した記念講演、全建設連住宅対策部長高橋健二さんが「コロナ禍における資材価格の高騰と工務店への影響、運動課題」と題した特別報告、原伊藤達也代表が「原発事故から11年福島は今」について現地報告を行いました。インボイス制度など4つの分科会が行われ全体で163名の参加でした。